

《報道発表》

BOATRACE 振興会・浜名湖競艇企業団と協働

BOATRACE 浜名湖場内に「BOAT KIDS PARK モーヴィ浜名湖」オープン
赤ちゃんから小学生まで、年齢・発達や興味にあわせた屋内外のあそび場

子どもの健やかな成長に「あそび」を通して貢献することを目指し、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、BOATRACE 振興会、浜名湖競艇企業団と協働し、「BOATRACE 浜名湖」場内に、有料の屋内外あそび場「BOAT KIDS PARK モーヴィ浜名湖」を2019年12月14日(土)にオープンします。BOATRACE 振興会、行政と提携して手掛けたボートレース場内のあそび場は、今年2月にオープンした埼玉県戸田市「BOAT KIDS PARK モーヴィ戸田」、4月にオープンした山口県下関市「BOAT KIDS PARK モーヴィ下関」に続き、全国で3例目となります。

BOATRACE 振興会、浜名湖競艇企業団と協働。乳幼児から遊べる施設づくりで地域に貢献

公園の遊具撤去・あそび制限などから、近年、子どもが十分に体を動かして遊べる環境が減少しています。実際、当社が2017年に行った調査※では、保護者の9割以上が「公園で遊ぶことは、子どもの成長にとって大事」と考える一方で、約7割が「公園の規制が昔より増え、遊具は減った」と回答しています。

当社は2004年から室内あそび場「キドキド」の開発・運営を手掛け、現在では全国21ヶ所に展開し、年間約277万人以上の親子に会場いただいています。「キドキド」は、“走る・回る・跳ぶ”などの多様な体の動きができるよう設計されたアクティブエリアと、創造あそびに集中して取り組めるエリアが一体となり、“こころ・頭・からだ”のすべてを使って親子で十分に遊べます。また、常駐する「プレイリーダー」が子どもの発達や興味に合わせたあそびを提案し、あそびの発展を促します。

こうしたノウハウを活用して地域に貢献すべく、当社は行政や企業と協働して、子どもの発達に必要なあそび環境を全国各地に広げています。一方、BOATRACE 振興会は、収益金を地方自治体や地方公共団体金融機構に分配し、その資金を学校設備の整備に活用するなど、ボートレース場というインフラをより地域に役立つ取組みに、継続的に着手しています。このようにあそび環境を各地で増やしたいという思いが合致し、ボートレース場内の敷地を活用して親子向けのあそび場を協働して開発しています。

今年オープンした戸田と下関のボートレース場内のあそび場は、地域の親子に大きな支持を得ています。また、浜名湖のボートレース場で、昨年GWと今年の夏休みに室内あそび場を期間限定でオープンし、多数の親子にご来場いただきました。こうした反響を受け、このたび常設のあそび場をオープンする運びとなりました。

BOAT KIDS PARK モーヴィ浜名湖 … 年齢・発達にあわせた4ゾーンからなる、屋内外のあそび場



■ BOAT KIDS PARK モーヴィ浜名湖

- ・面積: 約813㎡
- ・住所: 静岡県湖西市新居町中之郷3727-7
- ・電話番号: 053-594-7131 ※12月14日より
- ・オープン: 2019年12月14日
- ・対象年齢: 6ヶ月～12才
- ・利用料金: 子ども300円
大人300円(レース開催日は200円)
- ・営業時間: 10:10～16:30
※平日120分、土日祝60分ごとの完全入替制

「BOAT KIDS PARK モーヴィ 浜名湖」は、乳幼児から小学校高学年までの子どもの発達段階にあわせた4つのゾーンからなる屋内外のあそび場です。すべてのゾーンは、あそびの中で多様な体の動かし方を自然に体験できるよう、また子どもの挑戦心を喚起するよう設計しました。また、常駐するプレイリーダーが子どもの発達や興味に沿った多種多様なあそびを提案し、あそびが発展するよういざないます。さらに、何度行っても楽しめるよう、月替わりでイベントやワークショップも開催します。

【BOAT KIDS PARK モーヴィ浜名湖 4つのゾーンの特長】

1) 「アクティブゾーン」

幼児期の成長に必要な基本動作を引き出すしかけのある遊具をそろえており、走る、跳ぶ、登る、滑る、回るといった動作で、全身を躍動させて遊べます。360°の回転を体験できる「サイバーホイール」や、重心が動きダイナミックに回転する「ティピカルーセル」といった、最近の公園では体験しにくい回転遊具も取り入れています。

2) 「チャレンジゾーン」

高度なあそびへの挑戦心が芽生える小学校高学年向けに、バランスや筋力も必要なあそびを充実させました。回転する仕掛けが付いた雲梯をはじめ、バランスを取りながら歩いたり、友だちを乗せて回して遊んだり、多様な身体の動きを引き出す遊具を用意しています。また、何度も挑戦したくなるしかけがあるので、夢中で遊んでいるうちに体の動かし方が上手になっていきます。

3) 「ベビーゾーン」

ベビーゾーンは、はいはい、よちよち歩きの赤ちゃんが安心して全身を使って遊べるエリアです。腹ばい・ハイハイ・歩く・跳ぶ・バランスの5つの動きを導く「ポプルス」や、思わず手を伸ばしたくなるつかまり立ちバー、小さな子どもでも自分で動かすことのできるブランコなど、赤ちゃんの好奇心を刺激し、楽しみながら身体の動かし方の基礎も身につくあそびが揃っています。

4) 「アウトドアゾーン」

自然を感じながら、存分に水遊びや砂遊び、さらには泥んこ遊びができる屋外ゾーンも併設しています。また、複数の子どもが同時に遊べる「バードネストブランコ」や、登る・滑るといったあそびができる複合遊具もあり、さまざまな年齢の子どもと一緒に楽しめます。



アクティブゾーン



チャレンジゾーン



ベビーゾーン



アウトドアゾーン

当社はこれからも様々な団体と協働しながら、子どもの発達と子育て支援に資する豊かなあそび環境づくりを推進してまいります。

※ボーンランド Web 「昔と今の公園に関する意識調査」より

<https://www.bornelund.co.jp/contents/uploads/sites/2/2017/04/d9d41f0cb72b4d470ee07db1f6a68c60.pdf>

【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 78 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国 21 ヶ所、年間約 277 万人、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約 30 ヶ所、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報室

担当：村上

TEL：03-5785-0860、080-5901-3591

e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド

TEL：0120-358-518(月～金 10:00～17:00)